

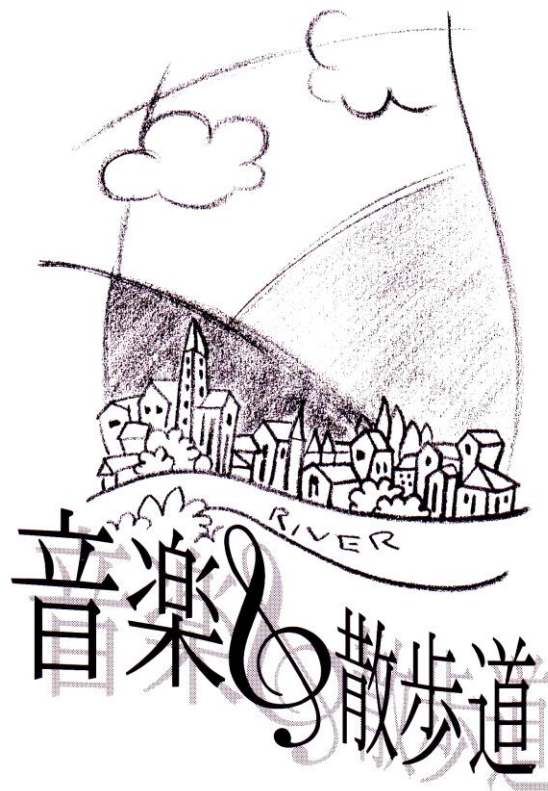
[第42回奈良県芸術祭参加]

東日本大震災チャリティーコンサート

バロック音楽の輝き

2011年9月16日(金)7:00pm

カトリック奈良教会



主催: 音楽の散歩道
後援: 奈良YMCA音楽院

プログラム

Johann Sebastian Bach (1685~1750)

J.S.バッハ

Sonata Nr.1 in B Bwv 525 (Aus der sechs Orgelsonaten)

ソナタ 第1番 変ロ長調 (6曲のオルガンソナタ集より ソナタ第1番 変ホ長調)

1. —
2. Adagio アダージョ
3. Allegro アレグロ

Fumi Takada

高田富美

Konzert über “Wacht auf, ruft uns die Stimme.”

「目覚めよ、と呼ぶ声あり」による協奏曲

Johann Sebastian Bach (1685~1750)

J.S.バッハ

Sechs Choräle von verschiedenen Art (Schübler - Choräle) Bwv 645 – 650

さまざまな様式による6つのコラール集(シューブラー・コラール集)

1. Wacht auf, ruft uns die Stimme.
「目覚めよ、と呼ぶ声あり」(同名カンタータ Bwv 140, 第4曲)
2. Wo soll ich fliehen hin.
「我、いずこに逃れゆかん」(消失カンタータからと予想される)
3. Wer nur den lieben Gott laesst walten.
「ただ尊き御神のままに」(同名カンタータ Bwv 93, 第4曲)
4. Mein Seele erhebet den Herrn.
「わが心、主をあがめ」(同名カンタータ Bwv 10, 第5曲)
5. Ach bleib bei uns, Herr Jesu Christ.
「我らとともに留まりたまえ」(同名カンタータ Bwv 6, 第3曲)
6. Kommst du nun, Jesu, vom Himmel herunter auf Erden.
「イエスよ、いまぞ御空より降り来たりて」
(カンタータ 主よ、力強き栄光の王をほめ讃えよ Bwv 137, 第2曲)



Georg Friedrich Händel (1685-1759)

G.F.ヘンデル

Sonate für Blockflöte in F op.1,Nr11 Hwv 369

リコーダー・ソナタ ヘ長調

1. Larghetto ラルゲット
2. Allegro アレグロ
3. Alla Siciliana シチリアふう
4. Allegro アレグロ

Johann Sebastian Bach

J.S.バッハ

Suite in d Bwv 997

組曲 ニ短調

Preludio 前奏曲 — Fuga フーガ — Sarabanda サラバンド —
Giga ジグ — Double ドゥブル

Georg Philipp Telemann (1681~1767)

G.Ph.テレマン

Triosonate in C Twv42:C2

トリオソナタ ハ長調

1. Dolce ドルチェ
2. Allegro アレグロ
3. Grave グラーヴェ
4. Vivace ヴィヴァーチェ

今夜のプログラムの前半は、バッハのオルガン独奏曲をリコーダー、ヴィオラ・ダ・ガンバ、オルガンで演奏します。

「6曲のオルガンソナタ集」はトリオソナタで、オルガニストがこれを演奏するときは、一人三役で大変な労力が必要ですが、3声部を3つの楽器で演奏することにより、それぞれの役割をより発揮することができると思います。ソナタ第1番は変ホ長調ですが、リコーダーの音域のために変ロ長調に移調して演奏します。

「シューブラーコラール集」の前に、その前奏曲として第1曲目「目覚めよ、と呼ぶ声あり」によるバロック風の協奏曲を演奏し、「6曲のコラール」へと続けます。このコラール集の表題は「2つの手鍵盤と足鍵盤を持つオルガンで演奏するためのさまざまな様式による6つのコラール」で、通称、出版譜の発行者 J.G.シューブラーの名にちなんで呼ばれています。これらはすべて、バッハ自身が作曲した多くの教会カンタータの中から選んだ曲をオルガン用に編曲したもので、カンタータの中から人気のあった曲を集め、一人でオルガンを弾いて楽しむ音楽愛好家のために出版したのではないかと推測されています。

後半は、バロック最盛期という時代を共にし、音楽家としてそれぞれ違った生き方をした3人の巨匠、ドイツで生まれイギリスに帰化したヘンデル、ドイツで生涯のほとんどを教会音楽家として生きたバッハ、当時、一番人気があり多作家で商売上手であったテレマンの作品です。

そして私達は、東日本大震災に遭遇された方々が、少しでも早くより良い生活にもどられますように、まだまだ長い年月がかかるとは思いますが、必ず来る復興の時に向かって、それぞれが出来ることをしながら歩いていきたいと思っています。

高田富美

出演者

中村 洋彦／リコーダー

エリザベト音楽大学宗教音楽学科卒業。第4回全日本 リコーダーコンクールにおいて最優秀賞、朝日放送賞を受賞。1981年、82年、84年に渡欧、研鑽を積む。1987年第1回 リコーダーリサイタルを開催、その成果に対して大阪文化祭奨励賞を受賞。92年、95年にはフランス政府の招請により「ロワール河古城音楽祭」に出演する。「京都の秋 音楽祭 '99」では F.ザビエル来日450年「南蛮音楽伝来」のプログラム構成および演奏を担当する。

現在、相愛大学音楽学部非常勤講師、ダンスリー・ルネサンス合奏団に所属。

頼田 麗／ヴィオラ・ダ・ガンバ

相愛大学音楽学部卒業。チェロを日比野忠孝、斎藤建寛の各氏に師事。ヴィオラ・ダ・ガンバ及び室内楽を平尾雅子氏に師事。2001年ロータリー財団の国際親善奨学生としてドイツへ留学。その後スイスのルガーノ・コンセルバトリーにて V.ギエルミ氏に師事。2002年よりバーゼル・スコラ・カントールムにて P.パンドルフォ氏のもとで研鑽を積み、2006年ディプロムコンサートを行い卒業。2007年ドイツの第 4 回テレマンコンクールにて「ベーレンライター賞」を受賞。2008年兵庫県知事グランプリ賞を受賞。

現在、ラ・キュピス、ko-ha-ku、NADESHIKO、クロチェットの各メンバー。

高田 富美／オルガン

相愛女子大学音楽学部オルガン専攻卒業。ドイツ・ヴェストファーレン州立教会音楽学校に留学。久保田清二、広野嗣雄、A・シェーンシュテット、R・ブリーゲンの各氏に師事。1993年以来、オルガンとその他の楽器・声楽による演奏会を「音楽の散歩道」シリーズで企画している。現在、独奏、室内楽・合唱などとの共演等、演奏活動を続ける傍ら即興演奏をケルン音楽大学教授 J・ゲッファートと彼のアシスタントに学ぶためときおり渡独、ドイツでもコンサートを行っている。奈良YMCA音楽院講師。日本オルガニスト協会、日本オルガン研究会会員。



このコンサートの収益は、東日本大震災への義援金として、
奈良YMCAを通して送らせていただきます。

「音楽の散歩道」は、
ドイツ、ハンブルク在住のオルガン製作者、クラウス・セバスティアン氏により
製作された、持ち運び可能な小さなパイプオルガンと共に、独奏、アンサンブルの
コンサートを企画しています。
シンプルな空気のなかで、風の音で創られるオルガンの自然な響きと、私達の
創り出す 音楽を、多くの方々に聴いていただきたいと思います。

ホームページ <http://www.kcn.ne.jp/~sanpo/>
E-mail: sanpo@kcn.ne.jp